県政トピックス

県政の動き

12月11日(金)～2月10日(水)

12月15日(火)
観光まごころ県民運動会長表彰

12月19日(土)
★南九州西回り自動車道「出水阿久根道路」開通式典

12月20日(日)
★平成27年度原子力防災訓練

12月22日(火)
御下賜金伝達式

12月25日(金)
口永良部島 避難指示の一部解除

1月8日(金)～2月7日(日)
★K-GAPかごしまの食の安心と安全フェスタ

1月12日(火)
★桜島火山爆発総合防災訓練

1月13日(水)
選挙の出前授業2016イン県短

1月16日(土)
危険ドラッグ等薬物乱用防止シンポジウム

1月19日(火)
★第18回鹿児島・シンガポール交流会議

1月20日(水)～21日(木)
かごしまの逸品商談会

1月22日(金)
★鹿児島の夕べ

1月23日(土)
★本場大島紬と鹿児島の食を楽しむ夕べ in 神奈川

1月28日(木)
県・市町合同公売会

1月31日(日)
坂井宏行氏「薩摩大使」「鹿児島食の巧み」委嘱式

2月3日(水)
★知事表彰(スポーツ部門)

2月6日(土)～7日(日)
フラワーフェスタインかごしま2016

★は写真入りで紹介

南九州西回り自動車道「出水阿久根道路(阿久根北IC～野田IC)」開通式典

12月19日(土)

南九州西回り自動車道の阿久根北ICから野田IC間(4.0km)が供用し、出水市で初めてとなる本自動車道が開通した。これに続く、野田から出水間も平成28年度以降、順次供用される予定となっており、今後、開通区間が延伸していくことで、沿線地域の産業や観光の振興が図られることが期待される。

当日は、式典後、地元幼稚園児も参加したテープカットや通り初めも行われ、開通を祝った。

また、野田IC周辺において、地元住民ら約500人が参加し、〝みち〟とふれあうウオーキング大会も行われた。

平成27年度原子力防災訓練

12月20日(日)

川内原子力発電所1・2号機の再稼働後、初めての原子力防災訓練を県および薩摩川内市など関係周辺市町の主催により実施した。

訓練は、川内原子力発電所の周辺地域住民のほか、警察、消防、自衛隊など約150の防災関係機関、約3600人が参加し、関係機関との連携や避難の手順などについて確認した。

訓練では、避難施設等調整システムによる医療機関などの受入先の調整のほか、30Km圏外に避難退域時検査所を設置し、車両用ゲートモニタによる汚染検査、ホールボディカウンタ等搭載車による内部被ばく検査を実施するなど、新しい取り組みも行った。

1月8日(金)～2月7日(日)

K-GAPかごっまの食の安心と安全フェスタ

かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）について、県内外の消費者に広く制度の認知度向上を図り、本県の安心・安全な農林水産物の消費拡大に資するため、「かごっまふるさと屋台村」において、K-GAPフェスタを開催した。

オープニングセレモニーでは、全26店舗が「K-GAP PR協力店」となり、認定証交付式も行われた。

1カ月にわたり、全26店舗において、K-GAP認証農林水産物を使用したメニューが提供されたほか、JAいぶすきのそらまめの試食・販売などK-GAP認証農林水産物のPRを行い、会場は多くの来場者で賑わった。

1月12日(火)

桜島火山爆発総合防災訓練

桜島の大規模爆発による火砕流などの災害に加え、鹿児島湾を震源とする地震や津波への警戒を想定した「桜島火山爆発総合防災訓練」を鹿児島市および垂水市で実施した。

当日は、「地域の連携による防災力の向上」をテーマに、県や鹿児島市、垂水市など156の団体と地域住民、合わせて約4500人が参加した。

地域住民による島外避難訓練のほか、新たに、外国人観光客などへの対応として、従来の日本語・英語に、中国語・韓国語を加えた4カ国語で防災情報を放送する訓練も実施した。

また、県庁では災害対策本部会議訓練や情報伝達訓練も行われた。

1月19日(火)

鹿児島・シンガポール交流会議

「第18回鹿児島・シンガポール交流会議」をシンガポールで開催した。鹿児島からは知事などが、シンガポールからは外務省上級大臣などが出席し、鹿児島の農畜水産物などの輸出促進、観光交流の促進、青少年交流団の相互派遣などについて意見交換を行い、9項目の交流プログラムについて合意した。

交流会議後の知事主催レセプションでは、県産品を使った料理や鹿児島の食文化体験の場を提供したほか、交流会議に合わせて、観光セミナーやレストランフェアを開催し、鹿児島の魅力を広くアピールした。

1月22日(金)

鹿児島の夕べ

東京都内のホテルにおいて、鹿児島の特産品や観光のPRを行う「鹿児島の夕べ」を開催し、鹿児島にゆかりのある方など約1000人が出席した。

県の伝統的工芸品である薩摩琵琶の重厚な調べで幕を開け、今回は、「本物。鹿児島県」～明治維新150周年に向かって～をメインテーマに、明治維新に大きな影響を与えた鹿児島の歴史などの紹介や、昨年7月に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産」を紹介するとともに、県産の農林水産物や特産品、郷土料理などの紹介・提供を行った。

伊藤知事は、大島紬に身を包み、本県の多彩な魅力をPRした。

1月23日(土)

本場大島紬と鹿児島の食を楽しむ夕べ in 神奈川

本県が誇る大島紬をはじめとする伝統的工芸品や豊かな「食」の、首都圏における知名度向上と販路拡大を図るため、神奈川県の協力のもと、「本場大島紬と鹿児島の食を楽しむ夕べ」を横浜において開催した。

ドレスコードを大島紬とし、伊藤知事をはじめ、神奈川県の黒岩知事も大島紬姿で出席され、華やかな雰囲気の中、本県と神奈川県の食材をコラボしたコース料理や大島紬のファッションショー、大島紬大使などを務めるゲストのトークセッションなどを通じて、「本物。鹿児島県」の多彩な魅力を発信する機会となった。

2月3日(水)

知事表彰（スポーツ部門）

平成27年度に国内外の大会で優秀な成績を収め、本県のスポーツ振興に貢献した12個人、1団体に対して鹿児島県知事表彰「スポーツ部門」の表彰式を実施した。

伊藤知事は「多くの県民に感動と活力を与えていただいた。更に高い目標に向けて努力され、東京五輪や「燃ゆる感動かごしま国体」での活躍を期待したい」と祝福した。

受賞者を代表して、世界ジュニア柔道選手権女子団体で優勝した青柳麗美選手（鹿児島情報高校）が「多くの方に支えられて謙虚と感謝を学ぶことができた。これからも謙虚に、ひたむきに、一生懸命、楽しんで競技を続けていきたい」と挨拶した。